

姉妹・友好都市

SISTER CITIES NEWS

ニュース

協会報

第 26 号

平成 8 年 5 月 11 日 発行

編 集 ・ 発 行

茨木市国際親善都市協会



ベルトン市長による「平和と人権」講演会

目次

- ミネアポリス市親善訪問団来茨 P 2 ・ 3
- 市・市議会友好訪中代表団、市民親善訪中団訪安 P 4 ・ 5
- 安慶市からも訪問団 P 5
- 秋の内海町訪問 P 6
- 第12回英語スピーチ大会報告 P 7
- 国際交流の集い開催、国際交流の足あと、寄付 P 8

ミネアポリス市

三市市長、議長を會



表敬訪問で勢揃い

昨年11月10日から15日まで、姉妹都市提携15周年を記念して、ミネアポリス市より、ベルトン市長、チェリーホームズ市議会議長をはじめ、総勢43名の訪問団員が来茨され、ホームステイ、日本文化体験のワークショップ、中学校・高等学校訪問、京都・奈良見学等を通じて市民の皆さんと親善交流を深めました。

11日（土）は、午前中に茨木市長・議長への表敬訪問を終え、午後から中央図書館、西河原市民プールなどの市内公共施設及び国立民族学博物館

を見学しました。

中央図書館では、ご両親が図書館に勤務していたチェリーホームズ議長やミネソタ大学の教授でもあるレイスロップ文化協会会長が館長の説明に興味深く耳を傾けておられました。

また、ベルトン市長は、ミネアポリス市の彫刻家、アンドレア・デネキー、ハリエット・バート両氏の作品が中央図書館の玄関前と中庭に展示されているのをご覧になり、13日に開催された「平和と人権」講演会で、茨木市民への感謝と喜びの気持ちを語っておられました。

12日（日）は、中津コミュニティセンターで約4時間、日本文化体験ワークショップが開催され、訪問団員25人が参加されました。

本協会姉妹都市活動室のメンバーが中心となったワークショップは茶道、華道、書道、折紙、着付け、盆栽、囲碁といったコーナーを設け、訪問団員は、着物を着てお点前や碁に興じたり、生け花や折紙に挑戦するなど日本の伝統文化を幅広く体験しました。

13日（月）には、学校で日本語を学んでいる訪問団の高校生9人が大阪府立茨木西高等学校を訪



親善訪問団来茨

む43人が茨木を満喫



着物でお点前



ワークショップで書道に挑戦

問し、体育（バドミントン）、化学、美術、音楽、英語の授業を参観しました。

休み時間には、生徒との話し合いの場がもたれ、初めは、お互いに恥ずかしがって話そうとしましたが、ミネアポリス市の生徒が日本語で話しかけると、緊張した雰囲気もなごみ、日本語と英語を交えながら、お互いの学校や家族の話に花が咲きました。また、昼食には、カツ丼や親子丼といった和食にも挑戦し、日本の高校の雰囲気を楽しめました。

午後からは、姉妹都市提携15周年、戦後50周年を記念して福祉文化会館文化ホールで、ベルトン市長による「平和と人権」の講演会が開催されました。この講演会は日本語と英語の同時通訳で行い、市民約300人はベルトン市長のゆっくりとした力強い講演を聴きました。

ベルトン市長は、「平和というのは単に戦争がないということに留まらない。平和とは人々の間にコミュニケーションを作り上げ維持する作業である。」と述べられ、子供への平和教育や姉妹都市交流の重要性を強調されました。

ホームステイを終えて

北春日丘四丁目 西村 以子

私たちの家族には、ミ市文化協会会長でミネソタ大学教授のアラン・レイスロップさんとトーマス・ホクさんが滞在されました。お二人は、とても日本の伝統や文化に興味を持っておられ、ミネアポリスでも日本語を習ったり、いろいろな日本文化の勉強をされているそうです。

滞在中のスケジュールは、ぎっしりと決まっていた、家でゆっくりとする時間はあまりなく、少々残念に思いましたが、私たち家族とできる限り一緒に過ごして下さったことに感謝しています。短い期間でしたが、充実した旅行だったと思います。私自身は、一緒にプログラムに参加することもあり、楽しく国際交流ができました。

帰国後すぐに丁寧なお礼の手紙が届き、もう何度か手紙が行き来しています。



レイスロップ会長と筆者（左端）家族



安慶・茨木友好天象館



天象館の前で

市・市議会友好訪中代表団、市民親善訪中団訪安 友好都市提結10周年記念式典や黄梅劇芸術祭に参加

10月3日、市、市議会の友好代表団が安慶市との友好都市締結10周年を記念して、安慶市で開催された「記念報告会」と「安慶・茨木友好天象館」の落成式に出席しました。

友好天象館は、安慶市が青少年の科学技術の普及と教育の場として計画した「安慶科学技術センター」の中心施設を両市の合作事業で建設したものです。同館は、展示室、多目的室のほか天体望遠鏡、プラネタリウムが設置されています。多くの市民の見守る中、小学生の鼓笛隊の演奏をバックに両市代表がテープカットを行い、その後、一般公開されました。また、「記念報告会」には、約千人の市民が出席し、両市市長による交流経過と友好発展の報告がされ、今後の両市の友好交流促進を誓いました。席上、安慶市から茨木市に「水墨画」の贈呈があり、現在建設中の庁舎南棟に掲額予定です。

一方、茨木市民親善訪中団は10月6日、友好都市安慶市に入りました。今回、茨木市・安慶市友好都市締結10周年記念の催しを行うため民謡民舞同好連盟、三曲協会、茶華道連盟の方々が参加され、総勢61名の大訪問団となりました。

昼頃到着した訪問団は早速、真新しい友好天象館を見学し、安慶市長などの市の幹部を表敬訪問しました。夜は、多数の安慶市民とともに、灯籠が公園一杯に飾られた灯籠祭を見学しました。

翌日、再び天象館を訪れ、周年記念の書画写真展を見学しました。安慶側の児童の書はさすが文字の国だけあって見応えがあり、また、茨木側の作品の中に自宅近くの学校の子供の絵を見つけて感激する団員の姿も見受けられました。この夜は、茨木・安慶両市による公演で、茨木側からは民謡民舞同好連盟と三曲協会の皆さんが、民謡（炭坑



四照園小学校訪問（左）

三曲協会の演奏（右）



民謡民舞同好連盟と安慶市側出演者



節、茨木小唄など)と箏曲(六段の調べ、花かけ変奏曲など)を披露し、安慶側の雑技、京劇、歌、奇術、胡弓演奏などと交互に演じ友好を深めました。最後の江州音頭では安慶側の出演者も多数参加して踊り、3時間に及ぶ友好公演の幕を下ろしました。

3日目は黄梅劇芸術祭開幕式で、安慶市長の挨拶の始まる頃には秋雨も止み、安慶市各県を代表する青年男女が、約1万人の観客の声援を背に受け、カラフルな衣装に身を包んで華麗なマ스ゲームを次々に演じました。昼間は、茶華道連盟の皆さんが前日1日かけて制作した生花を見学しました。灯籠祭が行なわれている賑やかな菱湖公園の中心区画に、中国を形どった白砂が敷かれ、その上に杉の枝が小森林のように敷かれ、20本ほどの竹をあしらい、竹に巻かれた金と銀の薄金は友好都市締結10周年を祝っていました。夜は、黄梅劇の歌と踊りをハイライトにした黄梅劇芸術祭の夕べを鑑賞しましたが、これは全国放映され、訪中団は北京滞在中に見ることができました。



茶華道連盟の作品

安慶市からも訪問団



張団長と山本会長(茨木市長)

安慶市友好代表団5人及び安慶市経済貿易友好視察団6人は、友好都市締結10周年を祝うため、昨年11月13日に来茨しました。

昨年はミネアポリス市とも提携15周年であり、到着した日の夜、長旅の疲れも見せず、ミ市・安慶市合同の歓迎会に出席されました。会場ではお互いの都市と訪問団を祝福しあい、日本語、英語、中国語の飛び交う国際色豊かなものとなりました。

この代表団は、安慶市の財政局、科学技術委員会、対外貿易局の幹部及び市直轄の区・県経済・産業の指導者で構成されていたこともあり、14日から2日間にわたって、中央図書館など市内公共施設見学をはじめ、家電メーカー、食品会社、ビール工場を視察するとともに、商工会議所を表敬訪問しました。

この時には、最近の中国ブームを表わして、技術援助や訪中希望の話などで座談が大いに盛り上がりました。



中央図書館見学



秋晴れの寒霞溪で



福田港でお別れ

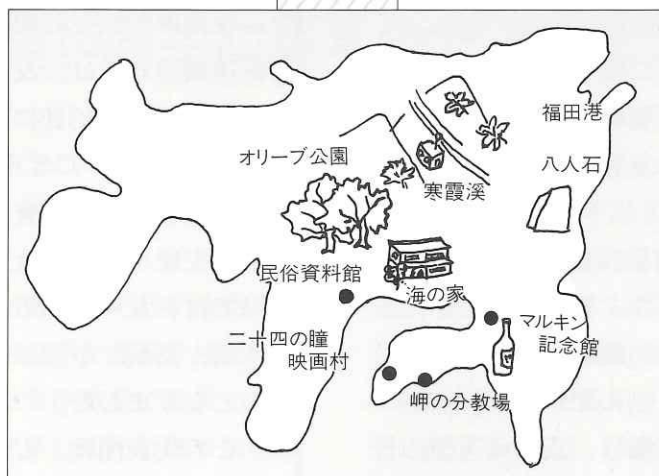
秋の内海町

昨年11月、市民16名が姉妹都市内海町を訪問しましたが、いつもながら内海町の皆さんの心あたたまる歓迎を受けました。

最初の見学先、大阪城築城ゆかりの「八人石丁場」では、小雨が降っていた天気も回復に向かい、見学後、オリーブ記念館において、内海町表敬訪問を行いました。「歓迎茨木市民の皆さん」の横断幕で出迎えを受け、

訪問団一同感激。川西町長から「もっと多くの茨木市民の皆さんが訪問してください」との挨拶があり、温かいハーブティのもてなしとともに、心がなごんだ表敬訪問となりました。

次に、壺井栄の小説で有名な「二十四の瞳」岬の分教場と映画村を訪れ、タイムスリップしたような気分でそれぞれの施設を見学しました。



その夜、「茨木市民海の家」に宿泊し、懇親会に川西町長、浜口副議長を迎え、訪問団の皆さんと「オリーブの歌」の合唱などで親交を深めました。

翌日は最高の秋晴れとなり、「民俗資料館」「マルキン記念館」を見学後、紅葉真盛りの「寒霞溪」へと向かいました。野猿の歓迎を受けながら、一同はロープウェイからの展望のあまりの大きさに

息をのみました。また、「四方指」からは、瀬戸内海を一望でき、訪問団員は美しい景色をバックにシャッターを何度も切っていました。“青い空青い波小豆島山わすらりょうか”今年も、11月に内海町への訪問を予定しておりますので、多数の参加をお待ちしています。

(事務局随記)

訪問



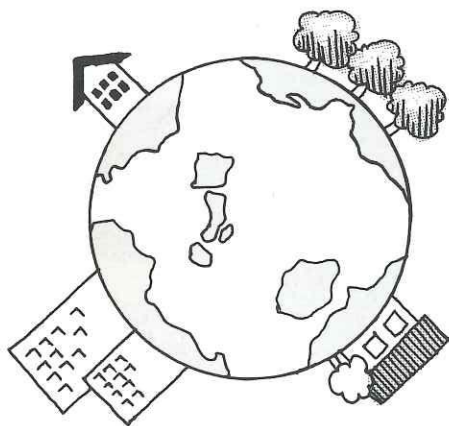
● 会員募集 ●

本協会では、姉妹・友好都市交流をはじめ、国際交流に興味を持っておられる方々の入会をお待ちしています。

会員には、春と秋に発行する協会報や、協会が催す交流行事のご案内をいたします。

<年会費>個人会員 (一般) 2,000円 (学生) 1,000円
団体・法人会員 5,000円

<申込先>協会事務局 (市役所 3階自治振興課国際交流係)
☎22-8121 内線2143



第12回英語スピーチ大会報告

I have a dream. One day the sons of former slaves and the sons of former slave-owners will be able to sit down together at the table of brotherhood.

昨年11月3日に行われた「第12回英語スピーチ大会」(茨木市国際親善都市協会主催)の中学生暗唱文の一節です。福祉文化会館文化ホールに中学生15人、高校生6人の熱の入ったスピーチが響き渡りました。身振り手振りの熱弁に、集まった聴衆もレベルの高さに驚き、子ども達の英語に対する姿勢に頼もしさを感じる大会となりました。

中学生の部では、教科書から引用されたマーチン・ルーサー・キング牧師の一節を、高校生の部では、私の核実験から学校生活に至るまで視野の



手振りをまじえてのスピーチ

広いスピーチをそれぞれ披露し、大会を盛り上げてくれました。大会についてのアンケートにも、表現力の豊かさに驚く感想が多く寄せられ、次年度も楽しみしているという声も聞かれました。ぜひ一度、会員の皆さんも中高生の活躍ぶりを見に来て下さい。入賞者の皆さんは次のとおりです。

[中学生の部]

- <優勝>米山 奏 (北陵中3年)
- <2位>村田加奈子 (同志社女子中2年)
- <3位>平 綾子 (東中3年)

[高校生の部]

- <優勝>伊藤明子 (千里高校2年)
- <2位>小澤聖子 (茨木高校1年)
- <3位>徳永妙香 (高槻北高校1年)



入賞者の皆さん

姉妹都市活動室

姉妹都市活動室では、外国人ゲストを迎えての講演会や研究会などを英語で行っています。

- <例会> 木曜会 第1木曜日 午前10時~12時正午
土曜会 第3土曜日 午後2時~4時
- <年会費> 正会員 2,000円 (18歳以上)
準会員 1,000円 (中・高校生)



ワークショップ

青少年活動室

ディズニー映画鑑賞、自己紹介や挨拶、クッキングなど英語を使った楽しいゲームや、季節ごとのイベントに参加しませんか? 楽しんでいるうちにネイティブの英語に触れられます。

原則的に、毎月第3日曜日2時~4時、福祉文化会館で行っています。参加費は無料です。



ハロウィンパーティー

'95 国際交流の集い開催

今年も、国際交流の集いが盛大に開催されました。この行事は、市民レベルの国際交流や市内の外国人相互の情報交換、バザーによる留学生等への生活の一助を目的として、毎年開催しています。

バザーは、今年も盛況で、日用品や電子レンジなど約1000点の提供がありました。

交流会は、日本文化の紹介として少林寺拳法の



好評のバザー

演武、外国文化の紹介として留学生によるインド古典舞踊と古典音楽の演奏があり、集まった人々から大きな拍手が送られていました。

また、今年も、見るだけでなく、一人ひとりが参加できる交流会にしようと、芸能披露の後に小グループ懇談会を開きました。アットホームな雰囲気の中、参加者は日本語や英語を使って交流を深め、楽しい集いとなりました。



交流会の一コマ

寄付

本市の国際交流事業の推進のためにと次の方から温かいご寄付をいただきました。ご厚志に心からお礼申し上げます。(10月～3月、敬称略)

〈市へ〉社団法人茨木カンツリー倶楽部(500万円)

茨木市における国際交流の足あと

第24号以降の経過

(1995)

- 7. 5 「'95小豆島オリーブマラソン」に市民62人参加
- 6 「第12回ゴルフコンペ」開催
- 7 「1995USA杯参加少年サッカーチーム」37人訪ミ
- 7 ミネソタ州日本語村カウンセラーとして 吉田恭子さん、藤木奈緒子さん訪ミ
- 7 姉妹都市提携15周年・友好都市締結10周年記念「書画・写真展」開催
- 7 「青少年キャンプ交流訪問団・茨木市民親善訪問団」18人訪ミ
- 8 「内海町との子ども交歓事業」(内海町から69人来茨、茨木市から44人訪内)
- 8 フランスから「モンモランシー合唱団」20人来茨
- 9 「市・市議会友好訪中代表团」16人訪安
- 10 「茨木市民親善訪中団」61人訪安
- 10 市民生総務課長水谷浩一氏、教職員課長古谷明久氏海外研修のため訪ミ
- 11 「第12回英語スピーチ大会」開催
- 11 「ミネアポリス市親善訪問団」43人来茨
- 11 姉妹都市提携15周年記念「平和と人権」講演会開催
- 11 「安慶市友好代表团」5人「安慶市経済貿易友好視察団」6人来内
- 11 「内海町への市民訪問団」16人訪問
- 12 「'95国際交流の集い」開催



1995USA杯参加少年サッカーチーム



青少年キャンプ交流訪問団